

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 10 日

事務事業名		英語検定料助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	020101001020
						単独/補助	単独		090101
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実				主要事業	対象外	所属課	学校教育課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	01 学校教育の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	総務グループ
	手段名	01 ①教育内容の充実				合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計			
	01	10	01	02	02	00	事務局事業		
法令根拠						桜川市英語検定料助成金交付要領			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	<p>●公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定「英語検定」を受検する小学校、中学校、義務教育学校等に在籍する児童生徒の保護者に対し英語検定料の受検にかかる保護者負担を軽減するため予算の範囲内で、桜川市英語検定助成金を交付する事業。</p> <p>●児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に令和元年度から実施(令和2年度から、小学校等で英語が教科化となる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象者は、5年生以上の児童及び4級以上の英語検定の受験の申込をした生徒</li> <li>・市内の小中学校又は義務教育学校に在籍する児童生徒</li> <li>・市内在住で、市外の小中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程又は特別支援 学校の小・中学部に在籍する児童生徒</li> </ul>
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の英語担当者へ趣旨及び助成金交付手順の説明会の開催。</li> <li>・教育委員会は、各学校を通して保護者への周知を行う。(通知等)</li> <li>・市ホームページへの掲載</li> </ul> <p>桜川市英語検定料助成金交付手順(市内の学校で受験する場合)(個人申請の場合)の対応の手順に沿って進める。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)		
			市内英語検定準会場設置校数	校	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			英語検定受験者数(児童数)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)		
			小学校児童数(5年生以上)	人	0.00	542.00	519.00	490.00	477.00
			中学校生徒数	人	0.00	768.00	790.00	778.00	795.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)		
			義務教育学校児童生徒数(5年生以上)	人	0.00	465.00	431.00	410.00	399.00
			中学校卒業段階で英検3級以上の取得率	%	0.00	29.00	40.00	45.00	50.00

(3) 投入量(事業費)の推移		29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	920	0
		事業費計(A)	千円	0	920	0
	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	2.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績(千円)			01年度事業費 予算(千円)		
				19 負担金補助及び交付金	920	
		合計	0		合計	920

(4) 当該年度の実施内容		01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>				

事務事業名	英語検定料助成事業	事務事業No.	20101001020	所属課	学校教育課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	令和2年度から、小学校等で英語が教科化となることをきっかけに、児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的として、令和元年度から実施する。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	現時点では特にはない。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市内の児童生徒の英語力向上のため、この事業を実施することは、市の施策体系である学校教育の充実・教育内容の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	対象は市内の児童生徒であり、その児童生徒の英語力向上のためであり、グローバルな人材を育成することになる事であるので、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	令和元年度が初年度であり、手法や助成額など諸々の点で向上余地があると思われる。なお、今後の展開次第では、英語検定以外の検定（数学や国語）についての助成も考えられる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	初年度であるため、廃止休止の影響は考えられない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	特に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	初年度であるため、成果は事業費・人件費の削減余地は考えられない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の全児童生徒が対象であるため、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・中学校卒業段階で英検3級以上の所得を基本に、児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的として、令和元年度から実施を始めた。 ・市内の学校は、学校を経由して受験料の半分を負担してもらっているが、学校経由での金銭のやり取りや、児童の受験に対する方法等については、今後の課題となってくる。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
・市内の学校については、学校を経由して受験料の半分を負担してもらっているが、学校経由での金銭のやり取りは出来るだけ避けていきたい。また、受験に際しての方法等について、担当教諭との話し合いの中、現時点での最良と思われるが、今後も最良を目指して検討していく。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 -																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続（現状維持） C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続（改革改善を行う） D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認